

日本放送協会報

2021年3月29日 第4511号

目 次

・ 経営委員会委員長および同職務代行者の決定、委員の就退任について	2
業務情報	
(指示事項)	
・ 日本放送協会放送受信規約の一部変更について（例規）	3
(番組編集)	
・ 2021年度国内放送番組編集の基本計画	4
・ 2021年度国際放送番組編集の基本計画	11
・ 国内放送4月の番組編成について	15
・ 国際放送4月の番組編成について	19
お知らせ	
・ 放送番組審議会の開催（3月）	21
・ 放送番組審議会委員の委嘱等	22
・ 放送技術審議会の開催	22
・ 登録権利	22
・ 海外総支局事務所の移転	24
人事	24

経営委員会委員長および同職務代行者の決定、委員の就退任について

〔経営委員会事務局〕

〔経営委員会委員長および同職務代行者の決定〕

2021年3月9日の経営委員会で次のとおり決定しました。



経営委員会委員長

もり した しゅん ぞう
森 下 俊 三



経営委員会
委員長職務代行者

むら た こう じ
村 田 晃 嗣

〔経営委員会委員の就退任〕

2021年3月1日付で、尾崎裕氏、不破泰氏が経営委員会委員に新たに任命され、森下俊三委員、井伊雅子委員が再任されました。

なお、檜田松瑩委員、佐藤友美子委員は任期満了により退任されました。



お ざき ひろし
尾 崎 裕

大阪瓦斯(株)
取締役相談役



ふ わ やすし
不 破 泰

信州大学学術研究院(工学系)
教授

業 務 情 報

(指示事項)

日本放送協会放送受信規約の一部変更について (例規)

2021. 3. 29
会 長

放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 6 4 条第 3 項の規定により、総務大臣の認可を受けて、日本放送協会放送受信規約（会長達示（昭和 43.4.1））の一部を次のように変更します。

次の表により、現行欄に掲げる規定の下線を付した部分（以下「下線部分」という。）でこれに対応する変更後欄に掲げる規定の下線部分があるものは、これを当該下線部分のように改め、変更後欄に掲げる規定の下線部分でこれに対応する現行欄に掲げる規定の下線部分がないものは、これを加え、現行欄に掲げる規定の下線部分でこれに対応する変更後欄に掲げる規定の下線部分がないものは、これを削る。

日本放送協会放送受信規約 新旧対照表 (_____ 部分は変更部分)

変更後	現行
付 則 (施行期日) 1 この規約は、 <u>令和3年4月1日</u> から施行する。	付 則 (施行期日) 1 この規約は、 <u>令和2年10月1日</u> から施行する。
(新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた延滞利息に関する措置) 10 第12条の2の規定にかかわらず、令和2年4月から令和3年 <u>9</u> 月までの間の放送受信料については、支払いを延滞した場合であっても、同条に定める延滞利息は発生しない。また、当該期間は同条に定める3期分以上の延滞に通算しない。	(新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた延滞利息に関する措置) 10 第12条の2の規定にかかわらず、令和2年4月から令和3年 <u>3</u> 月までの間の放送受信料については、支払いを延滞した場合であっても、同条に定める延滞利息は発生しない。また、当該期間は同条に定める3期分以上の延滞に通算しない。

〔営業局〕

(番組編集)

2021 年度国内放送番組編集の基本計画

〔編成局〕

編集の基本方針

「新しいNHKらしさの追求（※）」。2021年度はこれをキーコンセプトにした新3か年経営計画がスタートする年です。全ての人に「安全・安心」と「正確・良質」で多様なコンテンツを届け、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていきます。デジタル技術を利用した変革＝DX（デジタルトランスフォーメーション）を意識し、AIなどの最新技術やインターネットの双方向性を生かしながら、一人ひとりに最適化した情報を提供します。SDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）の考え方も踏まえながら、NHKは公共メディアとして、視聴者のみなさまの期待に応えます。

将来にわたって視聴者のみなさまから信頼され続けるために、放送法で定められた公共放送の基本姿勢を堅持します。自主自律と不偏不党を貫き、表現の自由を守るとともに、健全な民主主義の発達に資する放送・サービスを提供します。正確な情報を公平・公正に伝え、多彩で質の高い番組を追求していきます。

新型コロナウイルスによる感染拡大と経済への深刻な影響は、依然続いています。厳しい時代と向き合い、社会の“分断”を乗り越えるために、「共生社会」「多様性」といった視点を意識したコンテンツを届けます。

私たちの暮らしは、超大型台風に代表される世界的な異常気象、全国どこでも起きうる大地震など、大きなリスクを抱えています。視聴者のみなさまの安全・安心を支える情報を広く、深く伝えていきます。また、地域社会への貢献はNHKの大きな役割です。NHKの強みである全国ネットワークを最大限に生かし、地域の発展をさまざまな形で後押しします。そして2021年度は、東京と北京という2つのオリンピック・パラリンピックの開催が予定されています。ウィズコロナを意識し、状況にあわせて最高水準の放送・サービスを構築します。

視聴者のみなさまの声をいただきながら、受信料で支えられる公共メディアとして、正確な情報、学びの機会や家族で楽しめる娯楽など、真に役立つ放送・サービスを多様な伝送路を通じて届けます。

（※）新しい時代にも、NHKは放送やインターネットを活用し、信頼される「社会的基盤」としての役割を果たしていくとともに、創造性を大切にし、社会や人々の価値観の変化をとらえながら、常に新しいものに挑戦していくメディアでありたいと考えています。NHKは視聴者のみなさまの幅広い関心・期待に応えるため、放送法に定められた基本原則を堅持しながら、豊かで、心を揺さぶられるようなNHKならではの体験を、多様で質の高いサービスを通して、合理的なコストで、広く国民の皆様提供したい。それが私たちの追求する「新しいNHKらしさ」です。

編集の重点事項

1. 命と暮らしを守る放送・サービスで、安全で安心な暮らしに貢献

2020年、世界は新型コロナウイルスという未曾有の疫病に襲われました。そして国内では、各地で起きる大地震、頻度を増す超大型台風の襲来、記録的な大雨や暴風などの異常気象で、私たちの暮らしは脅かされ続けています。

コロナ禍にどう向き合えば良いのか、国内外の最先端の動きを取材し、現状や課題、解決策等について、正確かつ深く伝えていきます。

大規模災害が発生した際には、全国の放送局と本部が連携して被災地に必要な情報を届ける体制を確保し、状況に応じてテレビとラジオ、インターネットの伝送路を使って的確な情報を発信し、「命と暮らしを守る報道」に全力で取り組みます。

東日本大震災をはじめとする全国の被災地の復興を支援し、原発事故後の対策などについても継続して伝えます。

中長期的な視点でもコロナ禍や災害、地震などを継続的に深く取材し、さまざまな視点で課題を見つめ、防災・減災につながる情報を提供したり、課題と向き合う人間の姿をドキュメントしたりします。

2. コロナ後を見据え、日本と世界の課題に向き合う情報を発信

新型コロナウイルスの感染拡大という大きな災厄が世界を覆ういま、医療・防疫と経済の両立や人間同士の絆、抗ウイルス薬やワクチンを製造する科学技術力など、私たちはさまざまなことが試されています。

また、経済的な格差、性や人種による格差や差別の問題は解決に向かうどころか、深刻化しているようにも見えます。国内でも、膨らみ続ける社会保障費や厳しさを増す安全保障環境など、課題は山積みです。

どうしたらSDGsを踏まえた、持続可能な社会を築けるのか、正確で公平・公正な情報を、早く、深く、わかりやすく伝え、判断のよりどころとなる「情報の社会的基盤」の役割を果たします。また、それぞれのテーマについて多様な論点を番組やデジタルコンテンツで伝えるほか、ドラマやアニメなども含め、さまざまな手法で、いまと向き合う人々の姿を描いていきます。

デジタルツールも活用して、視聴者のみなさまとの双方向性を強め、情報提供や番組への参加を積極的に進めます。

3. NHKらしい多彩で質の高いコンテンツを幅広い視聴者に提供

ニュース、教育、福祉や教養、趣味実用、ドラマ、エンターテインメントなどのジャンルでも、視聴者のみなさまの期待と関心に「正確」「公平・公正」「安全・安心」「良質」「多様」等のキーワードで応えてきました。それをさらに推し進め、視聴者のみなさまの評価を物差しにしながら、インターネットも適切に活用して新しいNHKらしさを追求し「公共的価値」をしっかりと届ける編成をめざします。

ひとつのコンテンツを一人でも多くの方に届けきるために、マルチユースを一層推進し、インターネットサービスでは、放送では伝えきれなかった情報をより使いやすい方法で提供します。

4. 地域で制作されたニュースや番組の全国発信を強化

全国各地の放送局は地域の人の視点で、暮らしに役立つ情報や関心の高いテーマ・課題などを積極的に取り上げ、地域社会や住民のみなさんに貢献します。

それぞれの地域の視点で制作したニュースや情報番組などは、全国ネットワークを生かし、全国放送でも積極的に放送します。地域の課題、今に息づく伝統文化、たくましく生きる人々の暮らしなど“地域の今”を日本中の視聴者のみなさまに伝えていきます。NHKプラスでも地域の番組を提供します。

首都直下地震など大規模災害発生時の東京・渋谷の放送センターバックアップ機能や、地域情報発信の充実・強化を一層図るため、大阪拠点放送局の機能を強化します。

5. 多様な価値を認め、ともに生きる社会をめざした放送・サービス

“分断”が社会のキーワードとしてクローズアップされる時代ですが、多様性を認め合い、お互いを尊重しあえる「共生社会」の大切さを再認識し、その実現を支えるために、放送・サービスを充実させます。

障害のある人もない人も、どんなジェンダーの人も、そして国籍や年齢に関わりなく、多様な人たちが、生き生きと過ごすことができる社会の実現には、どのような課題があり、どのように取り組めばいいのか。ニュースや番組では、現実をさまざまな形で伝え、課題や解決策を考えていきます。

NHK自身の取り組みとしても、見やすく、聞きやすく、安心して視聴できるよう、字幕放送・解説放送・手話放送などのユニバーサル放送・サービスのさらなる充実に取り組みます。また、出演者の選定にあたっては、ジェンダーなど多様性を意識するとともに、新たな視点を入れるよう努め、番組をより豊かにします。

6. これからの社会を担う青少年や子どもの教育、健全な育成を支援

将来を豊かにしていくために、その時代を担う青少年や子どもが健やかに育つことは欠かせません。

ウィズコロナで学習機会の確保が課題となっていますが、個別学習にも対応できる番組やデジタルサービスの提供に努めます。インターネット空間の中でも安心して信頼して使え、新しい価値や世界と出会えるNHKならではのサービスで、新たな時代の学びをサポートします。

子どもの知的好奇心に応え、豊かな心を育む、そして親子が安心して視聴できる番組の充実に努めます。

多くの人から期待が高い分野であり、放送とデジタルサービスを有効に連携させることで、それに応えていきます。

7. 日本を世界に、世界を日本に 相互理解を促進する発信を強化

コロナ禍までインバウンドが過去最高を記録していたように、日本と海外の距離は年々縮まっています。一方で新型コロナウイルスの感染拡大によって、グローバル化の思わぬ弱点が可視化されました。

世界では今何が起きているのか、今後どんな道を進もうとしているのか。そうした声に応え、国際社会との相互理解を進めるため、世界の情勢や各国の動向を正確に深く伝えます。

また、世界各地の魅力あふれる自然や生物、文化、芸術などを、高精細映像も活用して紹介します。日本の魅力や文化についても、コンテンツの国際展開などを通じて、世界に発信します。

8. ウィズコロナを意識したオリンピック・パラリンピック放送を実施

2021年度は東京と北京で2つのオリンピック・パラリンピックの開催が予定される歴史的な1年です。また“東京2020”は新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながら開催を目指すという意味でも、過去に例のない大会になります。

世界最高のアスリートたちの祭典を余すところなく伝え、スタジアムの興奮と感動を日本全国で体感できるよう取り組みます。

また、競技にとどまらない、世界と日本人たちの、文化・芸術などさまざまな分野での国際交流など、将来の社会や文化の向上・発展に貢献できるよう、レガシーを意識しながら伝えます。

最高水準の放送・サービスの質は堅持しつつ、ウィズコロナを意識して、状況にふさわしいサービスを提供します。

以上の重点項目は、次のような施策も勘案しながら実施します。

- NHKは公共メディアとして、特定の指標に偏らず、多角的な視点から番組を評価することが重要であると考えています。これまでの質的、量的評価の指標を進化させ、番組やジャンルごとに的確に評価を行い、わかりやすく示します。
- 「新しいNHKらしさ」を追求するため、「波」別の個別番組管理から、より全体をふかかできる「ジャンル」別の総合管理へ転換します。番組を「ニュース（解説）」「スポーツ」「教育・次世代」「福祉」「ライフ・教養」「趣味・実用」「ドラマ」「エンターテインメント・音楽」「伝統芸能・クラシック」「アニメ・映画」という10のジャンルでわかりやすく分類し、ジャンルごとに適切な資源管理を行いながら、視聴者のみなさまにお届けする放送・サービスの価値を最大化します。
- 放送・デジタルサービスなどすべてにおいて、自らの発信が「公平・公正」で「正確」な内容であるのか、また、人権や多様な価値観を尊重しているのか、メディアリテラシーの向上に努めながら不断に検証し、放送倫理やコンプライアンス意識を徹底します。長年培ってきた取材力・制作力を発揮して、事実に基づく確かな情報の提供と質の高い番組の制作に努めます。
- ウィズコロナを前提に、NHKの業務に携わるすべての人の健康確保に留意して、創造的で活力ある職場を構築するために、リモートを積極的に活用したコンテンツ制作、リモート勤務推進・業務フローの抜本的見直しなどの働き方改革やダイバーシティー施策の推進、職場環境の整備に取り組みます。
- 2K（ハイビジョン）・4K・8K番組の一体制作、国際放送向け番組・地域向け番組・全国向け番組のマルチユースなど、さまざまな放送波・時間帯での番組のマルチユースをさらに進め、限られた経営資源を効果的・効率的に活用します。

各波の編集方針

総合テレビジョン

基幹波として、安全・安心を支え、正確・迅速な報道に全力をあげて取り組みます。また、公共メディアの実現に向けて、公平・公正で社会の指針となるニュースや娯楽・文化・スポーツなどの多彩な番組を最新の技術を導入し、DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めながら充実させます。東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックでは、数多くの競技中継や関連番組を通じ、幅広い視聴者のみなさまの関心に応えます。地域の発信力をさらに高め、地域サービスの向上を図ります。また、さまざまな手法で社会的な課題の解決に取り組むキャンペーンを展開します。

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組20%以上、教育番組10%以上、報道番組35%以上、娯楽番組20%以上を編成します。

教育テレビジョン（Eテレ）

教育、福祉などの重要課題に加え、語学・教養・趣味実用など多彩な番組を編成し、教育放送として、幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に応えます。「NHK for School」のコンテンツをさらに充実させたり、家庭での自学自習を意識した番組を開発したりして、学びの機会を広げます。番組とインターネットの連携を強化し、子ども・若者の接触拡大を図るとともに、誰もが楽しめるユニバーサル放送・サービスをより充実させ、共生社会の実現を目指します。

〔放送時間〕

○1日19時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組15%以上、教育番組75%以上、報道番組若干を編成します。

BS1

“ライブ感あふれる情報チャンネル”として、「スポーツ」「国際」「ドキュメンタリー」「地域」の4分野を軸に、刻々と変化する視聴者のみなさまの関心にしっかりと応えていきます。

ウィズコロナの時代に大きく変わりつつある世界や人々の動きを、正確かつ多角的に伝えるニュースやドキュメンタリーを編成します。東京・北京、2つのオリンピック・パラリンピックに向け魅力的な関連番組を編成するとともに、スポーツを通じた共生社会を目指す番組にも注力します。

また、地域関連番組にも力を入れ、豊かな日本の魅力を発信するとともに、地域固有の課題を広く伝えます。

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○定時番組について、教養番組20%以上、教育番組10%以上を編成します。

BSプレミアム

個性と見応えを追求した多彩な知的エンターテインメント番組を提供します。宇宙や大自然、芸術、ドラマ、歴史、趣味など、さまざまなジャンルの番組で“スケール感”“本場”“一流”“最前線”にこだわり、格別な満足感を得られるチャンネルを目指します。

〔放送時間〕

○1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めません。

BS4K

4Kの機動力と高画質の魅力を生かした幅広いジャンル番組を提供し、超高精細映像チャンネルの先導的な役割を果たします。またBSプレミアムと番組編成の一体化を進めます。東京オリンピック・パラリンピック期間中は、競技中継などを通して4Kの魅力伝えていきます。

〔放送時間〕

○1日18時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めません。

BS8K

新しい視聴体験に挑戦する世界最先端のメディアとして、未知なる映像文化を切り開く番組を提供します。また、未来に残すべき文化財や芸術を最高水準の映像で記録し、社会貢献の役割を果たします。東京オリンピック・パラリンピックでは、8K独自制作でその特性を生かした臨場感あふれる中継を行い、最高水準の放送の実現に寄与します。

〔放送時間〕

○1日12時間10分を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

○特に定めません。

ラジオ第1放送

安全・安心を担う音声基幹波として、命と暮らしを守る情報を届けます。甚大化する自然災害や新型コロナウイルス等の感染症の広がりに備えて、リスナーのみなさまが必要とする情報を的確に発信するほか、双方向性を生かしたコンテンツや地域発の話題を充実させ、幅広い世代の関心に応えます。東京、北京の2つのオリンピック・パラリンピックでは、さまざまな競技を中継でお伝えします。また、インターネットラジオ「らじる★らじる」を軸にデジタル展開を一層進めます。

〔放送時間〕

- 1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

- 定時番組について、教養・教育番組あわせて25%以上、報道番組35%以上、娯楽番組20%以上を編成します。

ラジオ第2放送

生涯学習波として、多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに、語学番組の充実を図ります。インターネットサービスとも効果的に連携し、“いつでも”“どこでも”学べる機会を提供します。

〔放送時間〕

- 1日19時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

- 定時番組について、教養番組15%以上、教育番組65%以上、報道番組10%以上を編成します。

F M放送

総合音楽波として、多様で多彩な音楽・芸能ジャンルの番組をバランスよく編成し、リスナーの期待に応えます。魅力的なパーソナリティーを起用するなど、幅広い世代に音楽に親しんでもらうことを目指します。災害など緊急時には、ラジオ第1放送とも連携して機動的な編成を行い、地域情報波として、ライフラインを中心にきめ細かな情報を提供します。

〔放送時間〕

- 1日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

- 定時番組について、教養・教育番組あわせて40%以上、報道番組10%以上、娯楽番組25%以上を編成します。

2021 年度国際放送番組編集の基本計画

〔国際放送局〕

編集の基本方針

新型コロナウイルスの影響を受けて世界中の人々の日常生活に大きな変化が生じています。NHKの国際放送は、日本発の公共メディアとして正確で公平・公正な情報を、日本の見方やアジアの視点を交えて発信していきます。国内外の外国人や在外邦人に向けて、新型コロナウイルス関連の情報をきめ細かく伝えるとともに、災害時などでは、多様な発信経路で多言語による安全・安心情報を迅速に届けます。あわせて、経営資源の効率的・効率的活用の観点から、国内放送との連携をより一層強化するとともに、放送だけでなくデジタルサービスも拡充します。また、東京オリンピック・パラリンピックについても状況にあわせてニュースなどで伝えていきます。

「NHKワールド JAPAN」の外国人向けテレビ国際放送では、ニュースと番組の両面で、新型コロナウイルスによる危機を乗り越えるための手がかりとなる情報を伝えます。また、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、新たな生活様式を模索する時代にふさわしい情報、日本の文化・地域の魅力を積極的に世界に発信していきます。

外国人向けラジオ国際放送では、ニュースをはじめ日本の地域の魅力や社会・文化、日本語学習など、幅広いコンテンツを17の言語で発信していきます。また、在留外国人に向けては、ラジオ第2放送で多言語によるニュースを引き続き編成します。

デジタルサービスでは、ウェブサイトやアプリでの機能性・操作性の向上を図るほか、在留外国人向けコンテンツの発信を強化します。ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）などもさらに活用し、サービスの質を高めます。

在外邦人向け国際放送では、テレビ放送「NHKワールド・プレミアム」とラジオ放送「NHKワールド・ラジオ日本」を通じて、最新のニュースや多様な番組を放送します。また、インターネットへの提供も強化します。

編集の重点事項と各波の編集方針

1. NHKワールド JAPAN

(1) テレビ (英語・外国人向け放送)

- ・「ウィズコロナ」時代を生きるための手がかりを提示

新型コロナウイルスによる危機を乗り越えてともに生きていく世界を目指し、解決のヒントとなるような番組、また、持続可能な開発目標 (SDGs) を念頭に新たな社会を目指す番組を充実させます。

- ・多彩な発信経路で正確なニュースを発信

メディアの公平性が世界で問われる中、正確で信頼される情報を発信していきます。毎正時のニュースでは、日本の見方やアジアからの視点で世界の出来事を伝えます。そして、新設したニューヨークスタジオから日本の深夜時間帯にも最新の情報を伝えるとともに、多彩な番組を届けます。地震や台風などの災害時には、SNS やインターネットで多言語のニュース配信を行い、安全・安心情報を強化します。

- ・日本の魅力 あらためて発信

日本との往来が制限される中でも、日本に関心を寄せる外国人に向け、文化を伝える番組や、多様な地域の魅力に迫る番組、医療分野をはじめコロナ禍の世界に貢献している技術を紹介する番組などにより、日本の魅力を発信します。

- ・良質ソフトを国内・国際で相互に活用

国際放送の独自番組の国内展開や、国内放送番組の英語化をより積極的に進め、経営資源の効果的・効率的な活用を目指します。例えば、「多文化共生」のヒントとなる番組や、ドキュメンタリーやドラマ、音楽番組など、多彩な番組で世界を日本に、そして日本を世界に届けます。

〔放送時間〕

世界全域……1日23時間以上が基本

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(2) ラジオ (17 言語・外国人向け放送)

・ニュースを中心とした番組の充実

災害や有事の際は、国内ラジオ第2放送とも連携しながら最新のニュースを的確・迅速に伝えます。また、引き続き海外の放送局へ番組提供を継続し、東京オリンピック・パラリンピックで世界からの関心が高まる日本の情報を広く発信していきます。

・インターネットとの連動を強化

タイ語・ベトナム語において動画サービスと連動したニュースを増設し、短波を中心とした伝送経路に加え、現地の受信環境に応じた多角的な発信に取り組み、聴取者にとっての利便性向上を目指します。また、SNSなども活用し、音声波と相互補完しながらさまざまな情報を伝え、NHKワールド JAPANの利用促進につとめます。

[放送時間]

世界全域……1日およそ40時間23分(17言語合計)

[放送番組の部門別編成比率]

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(3) インターネット

・ユーザー視点にたったサービスの充実

ウェブサイトやアプリでの機能性・操作性向上を図りながら、より一層使いやすいインターネットサービスを目指します。特に災害発生時での英語および多言語による情報発信を強化していきます。また、テレビ接続型端末向けアプリでの視聴者にも満足頂けるよう、サービスを拡充していきます。

・SNSを活用した発信を強化

日々のニュースに加え、生活や防災に役立つショート動画や、多彩なコンテンツの魅力をSNSで発信し、NHKワールド JAPANの認知および信頼度の向上を図ります。SNSごとに異なる特性とユーザー層を捉え、ターゲットに届けきる発信を目指します。

・多言語によるサービスの強化

AI(人工知能)による自動翻訳をライブストリーミングにおける多言語生字幕に利用したり、ニュース記事を多言語化する際の補助ツールとして活用したりすることで、制作効率の向上を図るなど、最新技術も活用しながら、より多くの方にNHKの豊富なコンテンツを届けるための施策を実施します。

・在外邦人向けコンテンツの発信強化

日本発の国際放送として、在外邦人の安全・安心を守るため、インターネットでの情報発信の拡充を目指していきます。

2. NHKワールド・プレミアム (日本語・在外邦人向け放送)

- ・日本の最新の動きや課題を発信する
新型コロナウイルスによるさまざまな影響や延期された東京オリンピック・パラリンピックの動きなど、日本の最新状況や課題を海外の視聴者に向けて伝えます。
- ・海外の日本人の安全と安心を支える
海外の日本人に影響のある事件・事故や災害が発生した際には、正確な情報を日本語ですみやかに届け、安全と安心を支えます。

[放送時間]

世界全域に向けた同一の番組編成……………1日およそ5時間
北米・欧州地域に向けた、現地の生活時間にあわせた番組編成
……………各1日およそ5時間

[放送番組の部門別編成比率]

定時番組について、報道番組80%以上、インフォメーション番組5%以上、
娯楽番組を若干編成します。

3. NHKワールド・ラジオ日本 (日本語・在外邦人向け放送)

- ・最新のニュース・番組、安全・安心情報の提供
国内のニュースや情報番組、スポーツ中継、音楽番組など多彩な番組を放送します。
災害や大きな事件・事故の際は最新のニュースを国内と同時に伝えるほか、海外安全情報を発信し、海外で暮らす日本人の安全・安心を守ります。また、インターネットでの配信も強化し、聴取者へ向けより多くの手段で情報を届けます。

[放送時間]

世界全域……………1日あたり24時間 (日本語)

[放送番組の部門別編成比率]

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上、娯楽番組を若干編成します。

国内放送 4 月の番組編成について

〔編成局〕

総合テレビでは、新年度の定時番組、京都と全国の古都を中継でつなぎ日本文化の魅力を伝える「京コトはじめ」、大阪発の関西ローカル情報番組「ニュース きん5時」がスタート。Eテレでは、アメリカの現状から民主主義を考えるE T V特集シリーズ「パンデミック・揺れる民主主義「ジェニファーは議事堂へ向かった」、物の目線の映像で描く「ぼくドコ～ぼくたちこれからドコ行くの?～」を編成。BS1では大河ドラマ「青天を衝け」の主人公にスポットをあてたBS1スペシャル「渋沢栄一に学ぶSDGs “持続可能な経済”をめざして」、「千鳥のスポーツ立志伝」では、五輪三連覇のレスリング吉田選手の強さの秘密に迫る「霊長類最強女子の“仮想現実力”～レスリング・吉田沙保里選手～」を放送。BSプレミアム・BS4Kでは、100年前のスペイン風邪の大流行を描く志賀直哉原作特集ドラマ「流行感冒」、マリー・アントワネットや野口英世らの死に際を掘り下げる「偉人たちの大臨終SP」、映像の世紀プレミアム第19集「東京 破壊と創造の150年」を編成。BS8Kでは「シリーズ・メトロポリタン美術館」、日曜美術館生中継!「鳥獣戯画展」スペシャル内覧会を放送。R1では笑いを追求するトークバラエティ「タカアンドトシのお時間いただきます」、FMでは人気シリーズ第3弾として「ボヘミアン・ラプソディ」のクイーンの特集「ディスカバー・クイーン」を放送。

〈総合テレビの主な番組〉

(特集番組)

- ・NHKスペシャル
 - 追跡 “コロナ犯罪” (仮) 3日(土)
 - 激動ミャンマー～市民たちのデジタル・レジスタンス～ (仮) 4日(日)
 - ビジョンハッカー (仮) 10日(土)
 - 家族が最後を決めるとき～脳死移植 命をめぐる日々～ (仮) 11日(日)
- ・あの日 あの時 あの番組 「よみがえる熊本城～熊本地震から5年～」4日(日)
- ・宮城発 地域ドラマ ペペロンチーノ 17日(土)
- ・今夜も生でさだまさし 24日(土)
- ・超絶神業!マジックバトル 29日(木)

(定時番組)

- ・歴史探偵〈新〉 3月31日(水)～毎週(水)
- ・京コトはじめ〈新〉 2日(金)～毎週(金)
- ・ニュースきん5時〈新〉 2日(金)～毎週(金)
- ・明日をまもるナビ〈新〉 4日(日)～毎週(日)
- ・ドラマ10「地上波特別版 70才、初めて産みます セブンティウイザン。」
(全3回) 2日、9日、16日(金)
- ・よるドラ「きれいのくに」(全8回)〈新〉 12日、19日、26日(月)
- ・土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」(全5回)〈新〉 24日(土)
- ・ドラマ10「半径5メートル」〈新〉 30日(金)

(スポーツ番組)

- ・競泳日本選手権 3日(土)～10日(土)
- ・ATPテニス マイアミオープン 決勝 8日(木)
- ・全日本体操選手権女子 17日(土)
- ・全日本体操選手権男子 18日(日)
- ・競馬皐月賞 18日(日)
- ・ATPテニス ロレックスモンテカルロ決勝 20日(火)

〈Eテレの主な番組〉

(定時番組)

- ・E TV特集
 - シリーズ パンデミック・揺れる民主主義
 - 「ミャンマー・立ち上がる市民たち」 3日(土)
 - 「アメリカ・ジェニファーは議事堂へ向かった」 10日(土)
 - アンコール「エリザベス この世界に愛を」 17日(土)
 - 「笑う学校には福来たる ～埼玉・新方小コロナ禍の1年～」 24日(土)
- ・ソーイング・ビー3〈新〉 1日(木)
- ・クラシックTV 今井翼×フラメンコ〈新〉 1日(木)
- ・ふるカフェ系 ハルさんの休日 (愛媛・松山市三津)〈新〉 1日(木)
- ・ズームバック×オチアイ〈新〉 2日(金)
- ・アーキテクツプレイス～北欧発 建築家の幸せな住まい〈新〉 2日(金)
- ・アニメ もっと!まじめにふまじめ かいけつゾロリ(第2シリーズ)〈新〉 2日(金)
- ・ひろがれ!いろとりどり「ほくドコ (1) タイヤの一生」〈新〉 5日(月)
- ・ハートネットTV「わたしはパパゲーノ～死にたい、でも、生きてる～」 6日(火)
- ・地球ドラマチック「タイタニックはなぜ沈んだのか」 10日(土)
- ・アニメ ラブライブ!「虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会」〈新〉 11日(日)
- ・ひろがれ!いろとりどり「応援!みんなのチャレンジ」〈新〉 12日(月)
- ・アニメ 不滅のあなたへ〈新〉 12日(月)
- ・ウワサの保護者会「どう乗り越える?中1ギャップ」 17日(土)
- ・日曜美術館「美人画の神髄～歌麿の技の秘訣～」 25日(日)

(特集番組)

- ・TVシンポジウム「日本書紀1300年」 3日(土)
- ・みんなのうた60 生放送 ～バースデースペシャル!～ 3日(土)
- ・福島をずっと見ているTV 21日(水)
- ・セルフポートレート わたしの風景 29日(木)

〈BS1の主な番組〉

(特集番組)

- ・BS1スペシャル
 - 「渋沢栄一に学ぶSDGs “持続可能な経済”をめざして」 3日(土)

「カノン～家族のしらべ2017-2021～」 10日(土)
 「“自由の声”が消えゆく世界で～「アラブの春」から10年 市民の闘いは今～」 11日(日)

「2030」

①「暴走する温暖化 “脱炭素”への挑戦」 18日(日)

②「飽食の悪夢 水・食料クライシス」 25日(日)

「廃炉への道 全記録2021」 24日(土)

・沁みる夜汽車スペシャル 25日(日)

(定時番組)

・スポーツ×ヒューマン

「私はキャプテン みんなで勝ちたい！バレーボール 黒後愛」 5日(月)

「常にほくらは挑戦者 父の教えと探す自分 フィギュア 鍵山優真」 19日(月)

・千鳥のスポーツ立志伝

「今に見てろと笑って頂点へ～スポーツクライミング・野中生萌選手～」 7日(水)

「霊長類最強女子の“仮想現実力”～レスリング・吉田沙保里選手～」 21日(水)

・チャリダー★快汗！サイクルクリニック

「チャリダーかるた★埼玉編～自転車ナビで知られざる歴史と地理を発掘！」
24日(土)

・ランスマ倶楽部

「新メンバー登場 みんなのチャレンジ始動スペシャル」 25日(日)

・COOL JAPAN

「新入生」 11日(日)

「バイク」 18日(日)

「おひとりさま」 25日(日)

(スポーツ番組)

・Vリーグ2020-21 3日(土)、4日(日)

・Jリーグ2021 3日(土)、7日(水)、11日(日)、17日(土)、24日(土)

・Bリーグ2020-21 10日、24日(土)

・ラグビートップリーグ2021 11日(日)

・競馬2021「第81回桜花賞」 11日(日)

・第55回 織田幹雄記念 国際陸上競技大会 29日(木)

〈BSプレミアム・BS4Kの主な番組〉

(ドラマ・アニメ)

・BS時代劇「小吉の女房2」(1)〈新〉〈全7回〉 2日(金)【BS4K同時】

・特集ドラマ「流行感冒」 10日(土)【BS4K同時】

・ドラマ「スパイの妻」 12日(月)【BS4K同時】

・特集ドラマ「裕さんの女房」 17日(土)【BS4K同時】

・ドラマ「星影のワルツ」 24日(土)【BS4K同時】

(特集番組)

- ・絶対行きたくなる！ニッポン不滅の名城「岡山城」 2日(金)【BS4K同時】
- ・映像の世紀プレミアム
 - 第19集「東京 破壊と創造の150年」 3日(土)【BS4K同時】
- ・偉人たちの大臨終スペシャル～人生のしまい方～ 3日(土)【BS4K同時】
- ・映画音楽はすばらしい！II 3日(土)【BS4K同時】
- ・ココロレストラン ひと皿に人生あり 3日(土)【BS4K同時】
- ・レギュラー番組への道
 - 今夜は絵顔で眠りたい！(1)(2) 2日、9日(金)【BS4K同時】
 - 小さな村のデッカい奇跡の物語(1) 30日(金)【BS4K同時】
- ・The Covers 4日、11日、18日、25日(日)【BS4K同時】
- ・“小さな世界”の大引っ越し「大阪大学外国語学部」 9日(金)【BS4K同時】
- ・生中継！ 極上の美しさ 一目千本 吉野の桜 10日(土)【BS4K同時】
- ・開発現場ドキュメント「われら テストマン！」 10日(土)
- ・劇画怪談 16日(金)【BS4K同時】
- ・体感！グレートネイチャー
 - 「激写！世界一の御神渡り～北海道東部 氷と火山の物語～」17日(土)【BS4K同時】
- ・超密着！世界の“凄ワザ”キング～第三弾～ 17日(土)【BS4K同時】
- ・名品たちの来歴「源氏の宝刀が語る数奇な運命」 23日(金)【BS4K同時】
- ・ねこ育て いぬ育て(7) 24日(土)【BS4K同時】
- ・我が心の大滝詠一 24日(土)【BS4K同時】

<BS8Kの主な番組>

(特集番組)

- ・競泳日本選手権 3日(土)～10日(土)
- ・生中継！「鳥獣戯画展」スペシャル内覧会 11日(日)【Eテレ同時】
- ・N響定期演奏会 16日(金)
- ・メトロポリタン美術館「美の百科事典」 18日(日)

<ラジオ第1の主な番組>

[特集番組]

- ・みんなでひきこもりラジオ 29日(木)

[定時番組]

- ・さくらひなたロッチの伸びしろラジオ〈新〉 5日(月)
- ・タカアンドトシのお時間いただきます〈新〉 7日(水)
- ・祝日も！らじるラボ 29日(木)

[スポーツ番組]

- ・プロ野球2021 3日、10日、17日、24日(土)、29日(木)

〈FMの主な番組〉

[特集番組]

- ・ 今日是一日 “昭和ニッポン歌謡名曲” 三昧 29日(木)

[定時番組]

- ・ ディスカバー・クイーン 〈新〉 4日(日)
- ・ G R e e e N H I D Eのミドリの2重スリット 〈新〉 6日(火)

国際放送 4月の番組編成について

〔国際放送局〕

3月29日(月)から2021年度編成を開始する。定時番組の新設・刷新や、各番組の放送時刻を改定することで、フレッシュかつ効果的な編成を実現する。そのほか、「持続可能な開発目標(SDGs)」に関連する番組や、地域の話題・日本の魅力を発信する番組などを、多彩に編成していく。

ニュースでは、新型コロナウイルスをめぐる国内外の状況に引き続き着目する。特にワクチン接種の進捗状況や東京オリンピック・パラリンピック開催の最終判断、コロナ禍で迎えた2度目の入学・入社シーズンの表情などを詳報する。またミャンマーなど緊迫するアジア情勢も発信していく。

※緊急事態宣言の影響により、一部の番組は放送日変更の可能性あり

〈NHKワールド JAPAN の主な番組〉

■新設する番組

- ・ Magical Japanese 28日(水)

■SDGs 関連番組

- ・ 100 Ideas for Sustainability 地球を救う 100 のアイデア 29日(木)
- ・ NHK Documentary (放送日は検討中)
2030 未来への分岐点 第2回「飽食の悪夢～水・食料クライシス～」
- ・ Zeroing In : Carbon Neutral 2050 (アンコール)
 - The Power of Youth (初回放送 2020年11月7日) 17日(土)
 - Sharing Our Bounty (初回放送 2020年11月12日) 17日(土)
 - Uncommon Ground (初回放送 2021年2月27日) 24日(土)
 - Recharging the Grid (初回放送 2021年2月28日) 24日(土)

■その他の主な特集番組

- ・ Reading Japan
「今年のはじめての半袖」(山本文緒)〈全2回〉 29日(木)
- ・ このあたりのもの
～禍(わざわい)の時、狂言三代が見つめる遠い未来～ 4日(日)

■4月も東日本大震災関連番組を編成

- ・ NHK WORLD PRIME
ふくしまの森に生きる ～震災10年・ひとりぼっちの闘い～ 3日(土)
- ・ 走れ!臨時石油列車 18日(日)

〈ラジオ国際放送の主な番組〉

引き続き新型コロナウイルスについて、ワクチン接種の進捗状況など内外の最新情報を詳しく伝えるほか、東京オリンピック・パラリンピックを巡る動き、アメリカのバイデン政権が開催する気候変動に関するサミット、衆議院選挙を控えて注目される衆参両院の補欠選挙・再選挙の結果などについて詳報する。

お 知 ら せ

放送番組審議会の開催（3月）

審 議 会	日 時	担 当
第679回 中央放送番組審議会	3月15日（月）午後4時	編成局
第677回 関東甲信越地方放送番組審議会	3月19日（金）午後3時	編成局
第673回 近畿地方放送番組審議会	3月17日（水）午後3時	大阪拠点放送局
第676回 中部地方放送番組審議会	3月18日（木）午後2時	名古屋拠点放送局
第678回 中国地方放送番組審議会	3月18日（木）午後2時	広島拠点放送局
第679回 九州沖縄地方放送番組審議会	3月18日（木）午後2時	福岡拠点放送局
第682回 東北地方放送番組審議会	3月18日（木）午後2時	仙台拠点放送局
第674回 北海道地方放送番組審議会	3月17日（水）午後2時30分	札幌拠点放送局
第678回 四国地方放送番組審議会	3月15日（月）午後1時30分	松山拠点放送局
第678回 国際放送番組審議会	3月16日（火）午後4時	国際放送局

放送番組審議会委員の委嘱等

〔編成局〕

審議会	年月日	委嘱等	氏名
中央放送番組審議会	2021. 3. 1	新規委嘱	磯崎 功典 氏 (キリンホールディングス株式会社代表取締役社長)
中部地方放送番組審議会	2021. 3. 1	新規委嘱	稲垣 貴彦 氏 (若鶴酒造株式会社取締役)
〃	2021. 2. 28	退任	稲村 修 氏 (魚津水族館館長)
中国地方放送番組審議会	2021. 3. 1	再委嘱	宮崎 智三 氏 (中国新聞社論説主幹)
四国地方放送番組審議会	2021. 3. 1	新規委嘱	村上 健太郎 氏 (特定非営利活動法人NPO砂浜美術館理事長)
〃	2021. 2. 28	退任	神田 優 氏 (NPO法人黒潮実感センターセンター長)

放送技術審議会の開催

〔技術局〕

審議会	日時	担当
第170回 放送技術審議会	4月12日(月) 午後3時	技術局

登録権利

〔放送技術研究所〕

番号	発明考案の名称	登録年月日	権利者
特許 第6806497号	偏波共用コンバータ、受信機及び衛星受信装置	2020. 12. 8	日本放送協会
特許 第6806587号	MTF測定装置およびそのプログラム	2020. 12. 8	日本放送協会
特許 第6806589号	情報判定モデル学習装置、情報判定装置およびそれらのプログラム	2020. 12. 8	日本放送協会
特許 第6806591号	撮影装置	2020. 12. 8	日本放送協会
特許 第6807214号	端末装置、受信装置及びプログラム	2020. 12. 9	日本放送協会

番号	発明考案の名称	登録年月日	権利者
特許 第 6807795 号	雑音除去装置及びプログラム	2020. 12. 10	日本放送協会
特許 第 6808889 号	画像符号化装置、画像復号装置、及びプログラム	2020. 12. 11	日本放送協会
特許 第 6810580 号	言語モデル学習装置およびそのプログラム	2020. 12. 15	日本放送協会
特許 第 6811582 号	トランスデューサー装置	2020. 12. 17	日本放送協会 株式会社加藤電気工業所
特許 第 6814029 号	ループフィルタ、符号化装置、復号装置、及びプログラム	2020. 12. 22	日本放送協会
特許 第 6814036 号	要素画像群生成装置及びそのプログラム	2020. 12. 22	日本放送協会
特許 第 6814617 号	有機エレクトロルミネッセンス素子およびその製造方法、表示装置、照明装置	2020. 12. 23	日本放送協会 株式会社日本触媒
特許 第 6817784 号	超解像装置及びプログラム	2021. 1. 4	日本放送協会
特許 第 6817793 号	超解像装置及びプログラム	2021. 1. 4	日本放送協会
特許 第 6818082 号	音声認識装置、認識結果出力制御装置、およびプログラム	2021. 1. 4	日本放送協会
特許 第 6818539 号	画像処理装置及び画像処理プログラム	2021. 1. 5	日本放送協会
特許 第 6818591 号	制御器設計装置、制御器及びプログラム	2021. 1. 5	日本放送協会
特許 第 6820163 号	光電変換素子、光電変換素子の製造方法および固体撮像素子	2021. 1. 6	日本放送協会
特許 第 6820168 号	送信装置及び受信装置	2021. 1. 6	日本放送協会
特許 第 6820192 号	送信装置及び受信装置	2021. 1. 6	日本放送協会
特許 第 6820193 号	送信装置及び受信装置	2021. 1. 6	日本放送協会
特許 第 6820204 号	状態推定器、及びプログラム	2021. 1. 6	日本放送協会 一般財団法人NHKエンジニアリングシステム
特許 第 6820764 号	音響モデル学習装置および音響モデル学習プログラム	2021. 1. 7	日本放送協会 一般財団法人NHKエンジニアリングシステム

海外総支局事務所の移転

〔報道局〕

支局名	所在地	移転年月日
ヨーロッパ総局	C8 31-35 Rue de la Fédération 75015 Paris FRANCE	2021. 3. 18

人

事

— 懲戒 —

年月	発令事項	処分理由	備考
2020.12	譴責	就業規則違反	